

6/9

事態の真相——教内学部長「眼底出血」、翌日(10)
地理学会(朝)へ「安靜」旅行、佐藤(隨)「瘡」でトウタ
—ストップス、翌日(11)直木評議員と共に天満ホテル
「Grand-Castle」で密談。6/14、10數名の団交西
員を残し40數名アビコ敷員立館で掌外待機。
団交最大出席数30余名=団交による「飼養者」

40數名はいかににして可能か? ——これは何を
意味するのか。 大学協議会はズマと中傷で
且共=民情を失頭に「一般学生」を良識ある封鎖
実力解除へ煽動している!

文庫

学友諸君よ！

眼底出血でナワワーナーストーリーがタ
タつた者が翌日、京都の学友へ出席
出来るのか？

寺でナワワーナーストーリーがタ
タつた者が翌日、本アルで出来て出来たのか

教官の因文への最大出席数30数名、
どうして何枚名も詰め食しなければな
らないのか？

明らかに、ナワワーナーストーリーでも
つてし大衆と組合しようとしている。
かくに事態の眞實相につれて述べて行
こう。

メティアとしてナル新聞しな詰むれない、いわゆる「無本如常」に行
き交へる反語者、我々は此々に直率的なメティアを語者の前に送り、
去る3月31、4、5の学外公認の教員会議に於ける教官会と、我々
は論理的正当性を持つて抗議した。我々の教委会公開の意見に対し、
これに反対は、佐藤作氏もびっくりの「非公角立公角できない
ことか」「無責任な人は角できない」とか、「まさに本質として
の暴力性をもつて言葉をしかけないのである。彼の罪状は教説にな
くあるが、中でも、真打の5・29の京都・嵐山への豪華なる逃走行
をお伝えする。

彼らは即ち、この杉本原野を遠く離れて、花咲く地獄の「花の家」
へ逃げ去ったのか。

5・26の教委会にて語者は先刻承知の事と思ひ、こ
の日、前座の学部審議会（「日本の声」）との融和合意の後、立
委を中心にして教委と殆んど埋めつくして反対語者の東廣なままでの
銃い貴府の直轄地を食つて教授達は、学生対策にしか走してはなかつ
た事をバカにされ、正に「真打」の因文であつて、シロアリ現実を傍り
自らの思想的、倫理的、理論的敗北を認めるを得なくなつたのである。
彼らにして残されたのは、専生が渠の質量の「口エッショナル」し
かない教養自身の姿であった。審議会によるドウガツヤ一部石巻連隊承
の手で教説によって、10月中の教授会開催を余儀なくされたのであった。
これが教説によって、10月中の教授会開催を余儀なくされたのであった。
ミスのない様に審議会組み立てられに「花の家」の舞台は、しかも今
や、我々文系委の情報網と後東京取扱の前粉砕されたのである。
この日の教説云々「事態収拾」という論理でしか設定されておらず
たゞひとことは、議事録に書かれておいた、議題項目の十数種が何す
らも羅列に語つてくれる。

一前回議事録確認、一傷害事件に関する声明の件

一人事

一海外出張者の件

一執行部裏会合の件

一学年部委員会

一期末試験の件

一新規会員登録

一学年長報告

一施設会員登録

いま、今日の教説会首脳の被虐を表現している。
我々は、この日以降、文教長会と無期留置に突入している。専門の
重大事案を、私箱裡に秘めている一部の其の外の犯罪性を告発し、教説自ら
の存在を固めているのを裏直した要実の情実の上に、個人的趣味の如
何によつて、國文へ来るが坐なほなどといつ思ひ老撫め持主を我々は
彼女に許さない。國文は百日朝、眼底出血でナワワーナーストーリーの如
セ内教説は、その後、學会をヒラヒラと走つたところで
ある。又、3月の朝、便所へ行くと生で行はず、いまに廻つて
来ない眞木教授、一の教ヶ月間、自ら、南島航行のメバシでありな
がら、学生の前に一度も聲を表わさない森山源也教授、逃げ去つて
る木久教授は、教説を田父重貴と近習会メンバーによつて分け、國文
には、いつも2、3人の教官をもつて、某所で教説を行なつてはいる。
この様に、我々は、徹底的に逃げ回り、處で筆を決める後ろを我々
は断固粉碎する。

6・4の夕方、眞木、多野、山本、丘野、馬場教授は、天橋のニュー
キャニスター不テルの500mを走り、走談し、この日、40人程の教説を我
孫子教職員会に集め、10人程を因を要員として出し、他の草野委員会
も子せていた。知らぬ間に而て厚貴になつていた文部省七教官は、こ
の事を知り、怒り心頭に癡して、木アルへ直行したが、眞木はしゃ早く
逃走、逃げ遅れた眞木教授を残して、もぬけのひづであつた。
現場に赴いて高橋、谷山氏等は、あまりに彼らの衣襟取てに驚愕し、あ
わやにターターストーンをかみかみ程の怒り様であつた。その後某所より、
佐藤三教官教説より、ヤマン的ほ、お詫びの電話があり、だが、谷山
氏は始めて、全員と会つて自己批判としきと演説せしむといつて、他の高
橋氏と余りのを通り古のである。この言葉は再び教官は教説しないの
である。

この様に、文教長会は、まことに、一部の教官をハーベンして、専らの
意をと蓄積すべく、眞木教授等は、教説的な學生対策の裏に、運動を行
つてゐるのである。この時異にあつて、我々文系委は、無期留置をと、時
中止して、60人の教官と、眞木教授、教説長、山本教授、森川教授の
出席を獲得するまで、國文をしないと申たのである。

現在、ドクターストッパーのひからいで、教説と書いて、40人の
教官が自宅待機してゐる。我々の間に近い米、諭義病院に拠点さ
れ、自らの無能に著しくて、瘦瘠するらしい。これらも含めての話で
あるらしい。我々に近いに居た眞木教授は、その全教官は教説へ
参るなど、決して禁じてはしない。眞木教授は、眞木の妻が、眞木教授へ
達が受け入るまで、今、おこなうべきことを決して是がいい。

我々は、ここで再度確認する。我々のこうした立場を筆を、眞木教授
達が受け入るまで、今、おこなうべきことを決して是がいい。

自らの運命は、自らの手によつて切り
拓かれりて行く。如何よろづメティアと
通して、自己の必然性を想定して行く
のか？

用う者は、用う者達のメティアアシト
持つて得ないのだ。すなはち用う者達の
メティアアシト！！

学友諸君よ！

自らの運命は、自らの手によつて切り
拓かれりて行く。如何よろづメティアと
通して、自己の必然性を想定して行く
のか？

用う者は、用う者達のメティアアシト
持つて得ないのだ。すなはち用う者達の
メティアアシト！！

文系委員会